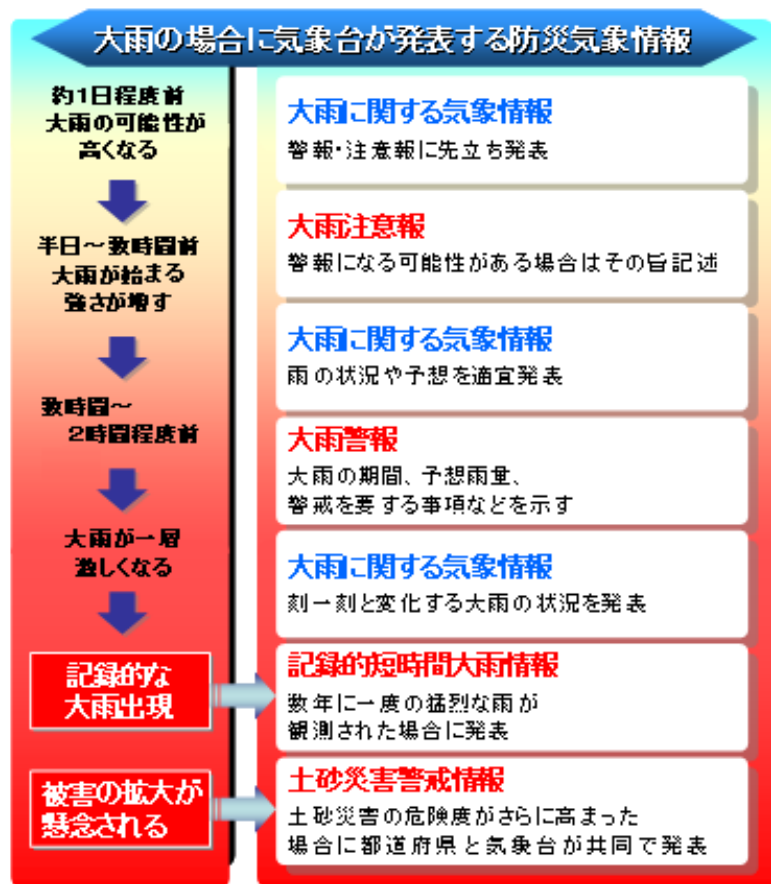


気象情報は、大雨による危険のレベルを知る手がかり

危険のレベルを知るには、テレビやラジオで見たり、聞いたりする「気象情報」が参考になります。情報⇒注意報⇒警報⇒特別警報と情報が変わるごとに危険のレベルが高くなります。



各種防災気象情報のタイミングの例



1日以上さきに災害がおこる
可能性があります。



大きな災害がおこる可能性が
高くなっています。



大きな災害が、どこかで、いつ
おきてもおかしくない状況。

「特別警報」が出されたら、すぐに安全な場所へ

「警報」より危険のレベルが高くなったときに、
出される情報が「特別警報」です。とても危
険な状況なので、すぐに安全な場所などへ
避難する必要があります。